



ゆたかっ子

令和3年度
学校だより 12月号
豊見城市立ゆたか小学校
豊見城市字豊見城 601 番地 1
TEL850-663 FAX850-3940
校長 宮平 やすみ



コロナ感染拡大

警戒レベル1に！ GO TO 校外学習！

新規感染者 806 人(8/25)となった時には、今後の学校生活がどうなるのか不安が大きくなるばかりでしたが、ここに来て感染者数が一桁台に落ちてきました。沖縄県警戒レベルが第1段階になったことで、これまで一時見送りにしている活動を実施(再開)することができます。

6 年生の修学旅行や、各学年の社会見学も内容を変更しながら実施しています。運動会で学級の団結と一人一人の意欲が高まりを感じる中、学校の外で学びを深める体験学習を通して、より一層深い学びがあるのではないかと思います。「百聞は一見に如かず」子供たちにとって、実際に見て、体験して学ぶことはとても重要です。また、学校の外で学ぶ楽しさに加えて、子供たちの楽しみは何といっても手作り弁当！作ってくれたおうちの人の愛情を感じながら、友達といっしょに食べる時間を過ごすことができました。今までの「当たり前」に、改めて感謝することができるようになった子供たち。世の中がどんどん進化して何もかもが当たり前に恵まれた環境で過ごしていたら、大切なことに気づかないままだったかもしれません。多くの制限の中で、不自由なことがたくさんありましたが、逆にその中で見つけた大切なことが、これからの生き方に役立つこともたくさんあるのではないのでしょうか。“久しぶりにお友達に会えてうれしい、お友達と遊べるようになってうれしい、みんなで外に出かけられてうれしい、お弁当がうれしい”…思いやり、助け合い、感謝の“心の種”が毎日育っているような気がします。



(雑談:最近髪形を変えました。子供たちが「校長先生、似合っていますよ!」「かわいいよ!」とお世辞(?)いいえ、ほめてくれます。実は、「失敗した～」と落ち込んでいた私ですが、子供たちに声をかけてもらって「まあ、いいか」と立ち直りつづけます。やさしい子供たち～ありがとう!)

体験を通して学ぶ～体験したことは記憶に残る

6 年生修学旅行



青い美しい海で、マリン体験!
その海に今、大量の軽石が・・・



フードロスも考えながら、みんなで食べるバイキング!

ネオパークで自然や動植物とふれあう・・・
環境について考える



「沖縄彩発見キャンペーン」期間です。旅行代金の割引がありラッキーな6年生。



5年生「山登り体験」



3時間山登りコースをみんなで励まし合い、石川岳の頂上に到達し、誰一人リタイアすることなく下山しました。5年生あっぱれ！

2年生「沖縄子どもの国」



2年生は、自然や動物とふれ合い、ワンダーミュージアムでは様々な遊び体験！遊びも勉強だ！



1年生「平和祈念公園」



公園の遊具でダイナミックに遊ぶ1年生。自然の落ち葉や木の実をたくさんひろって帰ってきました。何をつくるのかな？



豊かな体験が豊かな人間性を育む

(校長週案メモより)

学びには「7・2・1の法則」があり、70%は経験から、20%は助言やフィードバックなどの相互作用から、10%は講座や研修などのトレーニングから、人は学ぶと言われているそうです。「百聞は一見に如かず」です。

学校では、子供たちがたくさんの昆虫や生き物を探しては友達と見せ合ったり、草花や野菜の世話をしながら成長を観察したりする姿がよく見られます。ハサミやカッター、彫刻刀を使う活動においても、緊張しながらも真剣に取り組む姿が見られます。体験は学びの土台・出発点。五感を通して体験する活動は、子供たちの思考を活性化させ、学ぶことの喜びや意欲につながることは、子供たちの生き生きとした姿をみればわかります。子供たちに「生きる力」をはぐくむためには、自然や社会の現実に触れる実際の体験が重要です。豊かな体験や関わりをとおして感動したり、驚いたりしながら、「なぜ?」「どうして?」と考えを深める中で、実際の生活や社会、自然の在り方について学んでいきます。もちろん安全への配慮は最優先ですが、「危ないから、汚れるから、時間がないから・・・」と体験を制限することが、子供のたくましく生きる力を奪ってしまうことになりかねません。こんな時だからこそ、子供達にとって学びの基礎となる豊かな自然体験、社会体験を充実させたいものです。